

1 第1期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価検証 【概要版】

数値目標とKPIの達成状況について

●全般

【具体的な施策毎のKPI達成等に係る状況】

達成度合	R1(全92項目)
KPI達成	45項目
令和元(平成31)年度までにKPIを達成できる見込み	—
令和元(平成31)年度までにKPIを達成できるか現時点では不明	—
KPI未達成	46項目
特別な理由により達成度評価にあたらないもの	1項目

第1期総合戦略の計画期間中、地域課題の解決と地域活性化に資するものとして、具体的な施策に取り組んだものの、KPIの達成状況は約5割にとどまった。

【鶴岡市における人口動態（平成26年～令和元年）】

※出典：「山形県の人口と世帯数」（基準日：10月1日）（単位：人）

年次	自然動態			社会動態			人口増減		人口	備考
	出生	死亡	比較	転入	転出	比較	人数	率		
H26	892	1,794	▲902	2,636	3,258	▲622	▲1,524	▲1.15	131,011	
H27	901	1,856	▲955	2,709	3,126	▲417	▲1,372	▲1.04	129,652	国調人口
H28	868	1,838	▲970	2,665	3,207	▲542	▲1,512	▲1.17	128,140	
H29	764	1,946	▲1,182	2,650	3,109	▲459	▲1,641	▲1.28	126,499	
H30	757	1,805	▲1,048	2,558	2,925	▲367	▲1,415	▲1.12	125,084	
R1	713	1,917	▲1,204	2,615	3,058	▲443	▲1,647	▲1.32	123,437	

人口に関する指標については改善の傾向がみられなかった。

平成26年以降、毎年約1,500人ずつ人口が減少しており、特に自然増減数（出生数－死亡数）のマイナス幅が年々拡大していることが大きな影響と考えられる。

一方、社会動態については転出超過が続いているものの、マイナス幅は縮小傾向にある。

これらの数値は短期間で改善するものではなく、地方創生の取組みも第1期が終了した段階であり、十分に効果が発揮されたといえる状況にないため、検証を踏まえつつ第2期総合戦略において人口減少に資する取組みを継続していく。

1 第1期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価検証 【概要版】

数値目標とKPIの達成状況について

●基本目標1「地域にしごとを増やし、安心して働けるようにする」

【KPI達成状況 16/34項目】

数値目標：市内事業所数（民営）のうち新設事業所の割合						
基準値	目標値 (H31)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	達成度	参考
平成24年経済センサス 3.9%	5.0%	—	平成28年度 7.5%	平成28年度 7.5%	○	山形市R1 8.6% 米沢市R1 6.9% 酒田市R1 6.2% 出典：経済センサスより算出

地域にしごとを増やし、安心して働けるようにするため、本市の強みである食文化を生かした新たな産業の創出や、慶應義塾大学先端生命科学研究soなどの先端的な研究開発やベンチャー企業の発出などにより、新たな雇用が生まれました。

また、地方創生拠点整備交付金を活用した先端研究産業支援センター内への動物実験棟の整備や旧栄小学校を活用した別棟の整備により、さらに、新たなしごとや雇用の創出に期待が持てる。

直近の経済センサス（28年度）による新設事業所の割合も増加し、設定した目標数値を達成しており、今後も創業支援施策を継続していく。

●基本目標2「地域への新しいひとの流れをつくる」

【KPI達成状況 11/21項目】

数値目標：移住定住施策による転入者数						
基準値	目標値 (H31)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	達成度	参考
—	延べ100人	延べ155人	延べ209人	延べ293人	○	人口1千人当たりの社会増減数 鶴岡市R1 ▲3.6人 山形市R1 ▲1.8人 米沢市R1 ▲4.7人 酒田市R1 ▲3.8人 出典：山形県の人口と世帯数より推算

地域への新しいひとの流れをつくるため、移住定住のための受入態勢を整えることとし、専任の移住コーディネーターの配置や移住・定住促進サイトの活用、首都圏の移住希望者を対象にした移住実践プログラムの実施などに取り組んだ。また、高校生に対する地元企業情報の提供や、首都圏や仙台市での就活支援イベントの実施など、地元への就業意識を醸成する取組みのほか、ふるさとを愛する心を養うため、小学生を対象に市内の施設見学や地域学習を行った。

数値目標である移住定住施策による転入者数は達成し、取組結果は良好である。今後も移住定住情報の効果的な提供ときめ細やかな相談体制を継続していくほか、若者の地元回帰を促す施策を展開していく。

1 第1期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価検証 【概要版】

数値目標とKPIの達成状況について

●基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

【KPI達成状況 4/12項目】

数値目標：本市の合計特殊出生率

基準値	目標値 (H31)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	達成度	参考
1.52	1.60	平成28年 1.51	平成29年 1.50	平成30年 1.49	×	山形市H30 1.38 米沢市H30 1.34 酒田市H30 1.36 出典：山形県統計年鑑

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、年150回程度の婚活イベントや婚シエルジュによる世話焼き活動、妊娠・出産、子育ての各段階に応じ、育児不安を軽減するための相談・サポート体制、経済的負担に対する支援、地域資源を生かした特長的な保育などに取り組んだが、数値目標である合計特殊出生率は達成できなかった。

●基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る」

【KPI達成状況 12/19項目】

数値目標①：市全体人口減少率

基準値	目標値 (H31)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	達成度	参考
H22～H26 ▲3.74%	H27～H31 ▲3.5%	H27～H29 ▲2.38%	H27～H30 ▲3.56%	H27～R1 ▲4.70%	×	山形市H27～R1 ▲1.77% 米沢市H27～R1 ▲4.65% 酒田市H27～R1 ▲5.01% 出典：山形県の人口と世帯数より算出

数値目標②：市郊外地・旧町村部人口減少率

基準値	目標値 (H31)	H29実績値	H30実績値	R1実績値	達成度	参考
H22～H26 ▲5.75%	H27～H31 ▲5.5%	H27～H29 ▲3.20%	H27～H30 ▲5.15%	H27～R1 ▲7.01%	×	—

時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るため、中心市街地においては、まちづくりスタジオ鶴岡Dadaを活用したまちづくり活動の情報共有、人材育成などを行った。山村地域においては、朝日東部地区をモデル地区として、住民主体の試行的な取り組みや地域づくり人材を配置するなど「小さな拠点」の形成に対する支援を行った。主体的なまちづくりに取り組む地域が増えてきているものの、人口減少率は目標値を上回るスピードとなり、これを達成できなかった。